

令和7年度
入学試験問題

適性I

(第1回午前)



立正大学付属
立正中学校

令和七年度 立正大学付属立正中学校入学試験問題 適性Ⅰ (第一回午前)

【一次の文章A・文章Bを読んで、後の問に答えなさい。(問題の都合上、本文を全て読んでいるところがあります。)

文章A

わたしたちは日々の会話にせよ、「何のために生きるのか」といった問題について議論する場合にせよ、つねに言葉を使います。それなしには会話も学問も成りたちません。それほど大切なものですが、ジュエライはこの言葉の問題に哲学のなかであまり大きな関心が払われていませんでした。それは、言葉は思想を表現するための単なる手段であると考えられていたからです。1 近年は、言葉がわたしたちの考えるという営みに深く関わっていることが意識されるようになり、言葉の問題も哲学のなかでさかんに議論されるようになってきました。そういうことも踏まえて、本章では「言葉とは何か」ということについて考えてみたいと思います。

前章でわたしたちは「意味の世界」のなかに住んでいると言いましたが、言葉はこの「意味」と深く関わっています。「意味」を一つひとつ表現したものが「言葉」であると言ってもよいかもしれませんが。

もちろん「意味」は一人ひとりで違ってきます。その人が何に関心を抱いているかで、もの現れ方が違ってくるからです。言葉はそうした違いにすべて対応しているわけではありません。言葉のもっとも大きな役割は、他の人とコミュニケーションをとるというところにあります。2 言葉は多くの人に共有されて、はじめてその力を発揮します。言葉を使って他の人とのあいだで意思の疎通を図ることができるのは、言葉の意味のなかに互いに共有しているものがあるからです。あとで少し詳しく説明したいと思いますが、この共有されている意味を言葉の「基礎的意味」と言うてもよいかもしれません。この共有されているものを手がかりにしてわたしたちは互いに言葉を交わし、お互いを理解しあいます。したがってこの共有されている意味が、言葉の重要な部分をなしていると言ふことができます。

しかし言葉はこの基礎的な意味だけをもっているわけではありません。わたしたちが言葉で何かを表現しようとするとき、それが出来合いのことは(ここでは、言語としての「言葉」に対し、一つひとつの語という意味で「ことば」とひとりがなで書きます)ではうまく表現できないということがしばしばあります。あじさいはわたしの好きな花の一つですが、雨に濡れたあじさいはぐに美しく感じられます。その花のドクドクの包みや雨を飲んでいて、そう緑が濃くなった葉の美しさを誰か他の人に——雨のなかに咲くあじさいの花を見たことがない人に——ことばで伝えようとして、それがいかにコンナリか、いや、ほとんど不可能であることに気づかされます。それでも、それをあえて表現しようとするとき、わたしたちはわたしたちがもっている経験のことばを使わざるをえません、そこに何とか新しい意味を込めて、自分が見たり、感じたりしたものを言い表そうとします。そうした方法を使ってわたしたちは、無限な広がりをもつ「意味」に対応しようとして、むずかしい試みですが、決してその可能性がないわけではないと思っています。

(藤田正隆著『はじめての哲学』による)

文章B

私たち人間は言葉を使って考え、自分以外の人たちとコミュニケーションをとります。そして誰かとつながると、声を使ったり会話から文字を使った文章、詩、俳句までいろいろな伝え方があります。自分の感じたことや思っていることが言葉となって発信され、それが誰か別の人に伝わって相手の心を揺り動かしたり、お互いを理解し合ったりすることができる。素敵なことだと思いますか。それは今この瞬間、北海道と沖縄のように離れたところにいる人が思いを伝え合い共有するということだけでなく、時代を超えて思いを共有することも意味します。例えば、次の短歌からそのことを考えてみましょう。

逢ひ見ての のちの心に くらぶれば 昔は物を 思はざりけり

小倉百人一首でなしみがある人も多いかもしれませんがね。権中納言敦忠の作です。「あなたと逢ったあとの自分の心と比べると、昔はなにも思わなかったようなものだ」が歌の意味です。誰かのことを好きでたまらなく思うという経験をしたことがある人ならばこの気持ちに共感できると思います。3 今から千年以上も前の人も同じような気持ちを持って生きていて、そして現代を生きる私たちが知ることもできる、そう考えるとスコイですよね。さらに言はば時間を超えて「誰かが誰かに怒っている」その思いを共有できたこととなります。

言葉は人間にだけ与えられた高度な能力です。これから、もっともたくさん人の言葉や様々な表現の仕方を学んで、自分の思いを言葉にして表現し、他の人の思いを理解できたら、そうして人とつながっていけたら……。そう考えるだけでワクワクしてきませんか。私は、ワクワクしました。悉く成就も言葉にかかっている、そう考えると言葉や表現の力をつけることに真剣になれるそうです。その力をつけるのが国語の学習です。

それから、この国の言葉の中で育った私たちは、ものを考えるときにも日本語を考えています。ある教科の勉強が行き詰って

いる原因を探っていたら国語力に課題があったということもほぼはあることです。国語の力というのは、社会や数学、英語、理科などすべての教科の基礎になりますから。

(宮下聡著『中学生になつたら』による)

(注) ※1 前章——筆者は前章で、「わたしたちは、ただ単に物に囲まれて生きているのではなく、「表情の世界」のなかに、そして「意味の世界」のなかに住んでいると言いうことができます。」と述べている。

※2 意思の疎通——お互いが考えていることを伝え、理解や認識を共有すること。

※3 既存——すでにあること。

※4 成就——願いがかなうこと。

問一 ——線(ア)～(ウ)のカタカナを漢字に直して記しなさい。

問二 [1] と [3] にははまるものを、次のア～ウの中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。(同じものを二
度使用しないこと。)

ア しかも イ しかし ウ つまり

問三 ——線①「言葉の重要な部分をなしている」とは、どういうことですか。本文中の言葉を使って、六十以上八十字以内
で説明しなさい。(句読点、かきかっこなどをふくむ。)

問四 ——線②「むずかしい試み」とありますが、筆者の考える「むずかしい試み」とはどういうことですか。本文中の言葉を
使って、六十以上七十字以内で説明しなさい。(句読点、かきかっこなどをふくむ。)

問五 [文章B]では、「言葉のもつ力」について書かれていますが、それはどのようなことですか。本文中から二つあげて、それ
ぞれ三十以上五十字以内で簡潔にまとめて説明しなさい。(句読点、かきかっこなどをふくむ。)

問六 ——線③「言葉や表現の力をつけること」とありますが、あなたはこれからの中学校生活において、どのように努力して
いけば「言葉や表現の力」をつけられると考えますか。それぞれの文章の内容をふまえて、三百字以内で自分の考えをまとめ
なさい。(句読点、かきかっこなどをふくむ。)

(答え方のきまり)

- 題名は書かない。
- 最初の行から書き始める。
- 各段落の最初の字は一字下けて書く。

令和7年度
入学試験問題

適性Ⅱ

(第1回午前)



立正大学付属
立正中学校

※著作権上の問題により、大問4は収録しておりません。

1

問1	良い点：
	悪い点：
問2	
問3	
問4	

問5	
	人物名：
問6	理由：

得点	
----	--

総合得点	
------	--

受験番号	氏名

2

(1)	cm^3
(2)	
(3)	cm^3
(4)	
(5)	cm^3
(6)	cm^3

得点	
----	--

受験番号	氏名	
------	----	--

令和7年度 立正大学付属立正中学校入学試験問題 適性Ⅱ (第1回午前) [解答用紙] No.3

3

問1	ア	
	イ	
問2		

得点	
----	--

受験番号	氏名	
------	----	--

令和7年度 立正大学付属立正中学校入学試験問題 適性Ⅱ (第1回午前)

1 次の会話文を読み、以下の問に答えなさい。

先生「みなさん、2024年をふり返ってみましょう。みんなにとっての1番のニュースは何でしたか？」

生徒A「はい！パリのオリンピックです。セヌ川での開会式をテレビで観ました。」

生徒B「私はアメリカの大統領選です。最後まで結果が読めず、興味深かったです。」

生徒C「はくは新しい紙幣が発行されたことです。きれいな紙幣にびっくりしました。」

先生「そうですね、約20年ぶりの新紙幣の発行で話題になりましたね。」

生徒A「はい！私は1万円札・5000円札・1000円札のすべての新紙幣を持っています！」

先生「では、どうしてこのタイミングで新紙幣の発行だったと思う？」

生徒全員「なぜだろう？」

生徒A「どんな理由があるのかな。」

先生「写真Iの紙幣を見てみるとグラフィックがすごいね。偽造されないような工夫がされているね。技術が進歩してきたから、新しいものに変えているんだね。では、ここでみんなに問題です。紙幣の発行枚数は増えていると思う？減っていると思う？」

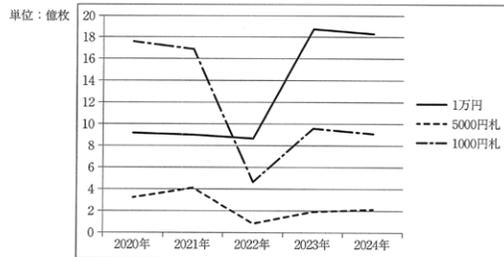
生徒B「①キャッシュレスが増えたから減っていると思います。」

生徒C「私もそう思います。電車に乗るときもSuicaやPASMOを使うので、減っていると思います。」

先生「そうだね。では、グラフIを見てみよう。みんなの予想は当たっていたかな？」



写真 I

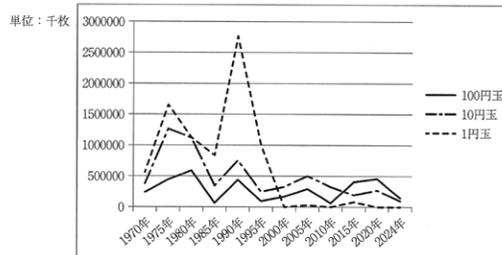


グラフ I

生徒全員「えー、どうして増えているの!？」

生徒A「なぜだろう？キャッシュレス化でどの紙幣も減っていると思ったのに②最近また増えているんだ。」

先生「硬貨はどうだと思う？100円玉・10円玉・1円玉の発行枚数がわかるグラフIIを見てみよう。」



グラフ II

生徒B「毎年たくさんの硬貨が発行されているんだな。」
先生「③1990年ごろに1円玉の発行枚数が増えているね。どうしてだと思う？」

生徒C「わたしたちの生活で、何か変化があったのかな。」
先生「今も導入されているもので、当時私たちは買い物しやすいように1円玉や5円玉がたくさん用意していたんだ。」

生徒A「グラフⅡを見ると④2020年ごろから全体的に減っているように読み取れます。先生、なぜですか？」

先生「私たちの生活を大きく変えた新型コロナウイルスが流行した頃だね。外出をすることが難しくなり、その影響を受けたと言われてるよ。私たちが使用している紙幣と硬貨は様々な理由で発行枚数が変わっていくことがわかるね。」

生徒C「もしもたくさん紙幣・硬貨を発行するとどうなるんですか？」

先生「良い質問だね。その場合は、⑤インフレーションという現象が起きるね。」

生徒A「それは、困ることなんですか？」

生徒B「インフレーションって何だろう？」

先生「急激なインフレーションはとても困ることなんだよ。それが起きた例で、写真Ⅱを見てごらん。たくさんの紙幣で遊んでいる子どもがいるね。過去にドイツで紙幣を印刷しすぎて、物価が大きく変動してしまったことがあるんだよ。」

生徒C「こんなことになるなんて、紙幣の発行枚数は大事なことなんだね。」

先生「みんな、今日の授業で紙幣・硬貨に興味を持ってくれたよね。次回、⑥紙幣のデザインが代わるのが楽しみだね。」



写真Ⅱ

問1. 下線部①について、キャッシュレスの良い点・悪い点をそれぞれ考えなさい。

問2. 下線部②について、1万円札が増えた理由を考えなさい。

問3. 下線部③について、1円玉の発行数が増えた理由を考えなさい。

問4. 下線部④について、硬貨が減った理由を考えなさい。

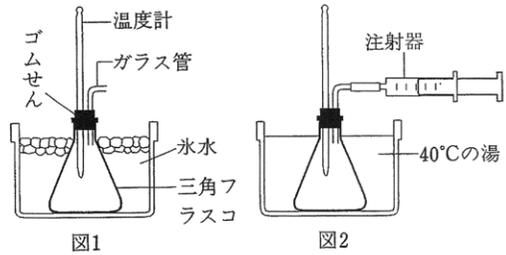
問5. 下線部⑤について、インフレーションを説明しなさい。

問6. 下線部⑥について、あなたが次の新紙幣をつくることになったら、誰を肖像画に選びますか。その理由もふくめて答えなさい。肖像画は人物で1名のみ、グループは不可とします。

- ② 空気をあたためると、空気はふくらんで体積が増えます。体積の増え方を次のような実験で調べました。

実験

手順1 図1のように温度計とガラス管のついたゴムせんをはめた三角フラスコを氷水の中に入れて、三角フラスコ内の空気の温度が0℃になるようにしました。



手順2 図2のように注射器を取り付けてから、40℃の湯の中に三角フラスコを入れて、三角フラスコの空気が40℃になってから、注射器にはいった空気の体積をはかりました。

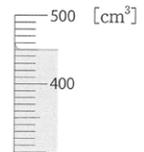
手順3 三角フラスコを湯から出して、だんだんと冷えていくときのフラスコ内の空気の温度と注射器内の空気の体積をはかりました。

手順4 0℃のときの空気の体積をはかるために、メスシリンダーと水を使って、図1の三角フラスコの容積をはかりました。

実験の結果は、表1、図3のようになりました。

表1 空気の温度と、注射器内に入った空気の体積

容器内の空気の温度 (℃)	40	35	28	23	18	14
注射器内の空気の体積 (cm ³)	65	57	45	37	29	23



- 図3から読み取れるは三角フラスコの容積は何cm³ですか。
- 手順4で、メスシリンダーと水をどのように使って三角フラスコの容積をはかったのか。 図3 手順4の結果その方法を説明しなさい。
- 40℃のとき、ふくらんだ空気は全部で何cm³になりますか。
- 注射器内の空気の体積 (cm³) をそれぞれ温度 (℃) で割るとどの答えもだいたい同じ数字になります。その数字を四捨五入して小数第1位まで答えなさい。
- この実験で空気を50℃にしたとき、注射器内の空気の体積は何cm³になりますか。(4)の答えを使って計算しなさい。
- 三角フラスコの大きさを変えて同じ実験をするとします。0℃で1000cm³の空気を40℃に上げたとき、ふくらんだ空気は全部で何cm³になりますか。小数第1位を四捨五入して整数で答えなさい。

3 「面積の表し方」について、先生と生徒のリツ君とショウ君が話をしています。

リツ君：日本では観光地の広さを表すときなど、東京ドーム何個分という表現をよく用いているよね。

ショウ君：確かに。ニュースなどでよく聞く表現だね。

でも、なぜ東京ドームなんだろう？

先生：面白い疑問点だね。それでは、他の表現で面積の大きさを表せるか考えてみようか。

リツ君：分かりました。まずは東京ドームの大きさがそもそもどれくらいか調べてみようよ。

ショウ君：東京ドームの建築面積は 46755m^2 って書いてあるよ。

東京ディズニーシーが開園したときの面積は 49ha って書いてあるから、東京ドーム（ア）個分だね。

先生：そうだね。じゃあ、東京ディズニーシーの面積を他の物で置きかえて表すとしたら、何がいいかな。

リツ君：みんなが知っている場所で置きかえたら分かりやすいんじゃないかな。

ショウ君：じゃあ、渋谷のスクランブル交差点なんかどうかな。

リツ君：インターネットの航空写真から計算すると、スクランブル交差点の面積は 1786m^2 だよ。

ショウ君：ということは、東京ディズニーシーの面積はスクランブル交差点（イ）個分だね。

先生：そうだね。どうかな、広さのイメージがわいたかな？

リツ君：う～ん。置きかえてみて分かりやすくなったような。

ショウ君：もっと分かりやすい表現があると思うな。

例えば、ここにあるA4サイズの手紙だったらどう表せるかな。

問1 会話文のアとイに入る数をそれぞれ答えなさい。ただし、答えが小数の場合は、小数第2位を四捨五入して答えなさい。

問2 問題用紙に挟んであるA4用紙を用いて、東京ディズニーシーの面積がA4用紙何枚分で表せるかを詳しく説明しなさい。ただし、A4用紙のサイズは縦 30cm 、横 21cm とします。また、答えが小数の場合は、小数第1位を四捨五入して答えなさい。